

## 令和5年度 TAMランド 南草津園 自己評価

保育所保育指針において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。

そのことを踏まえ、TAMランド南草津園では保育の質の向上を図る為自己評価を実地しました。評価の結果を踏まえ、次年度の改善に生かしてまいります。

評価について 評価をするにあたっては、以下の基準で評価を行っています。

◎→よくできている ○→ほぼ出来ている △→努力が必要

評価対象期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日

	評価	評価の根拠・改善内容
<b>1. 保育理念</b>		
保育理念・保育目標を理解し正しく説明することができる	△	理念・目標について、職員間で共有する機会がすくなくあった。今後保育室に掲示し、周知する。
園目標や方針が保護者に知らされている	◎	入園説明会や行事の時に保護者に説明している。
<b>2. 保育計画</b>		
保育計画を作成し、見通しを持った保育を実施している	○	各クラスで話し合っ、進め方などを共有していた。
年間計画・年間行事の見直しをしている	○	職員間で話をして、必要に応じて変更していた。
<b>3. 人権尊重</b>		
子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じる	△	一日のデイリーを進めるにあたり、保育者都合で決めているところがあった。
<b>4. 個人情報保護</b>		
個人情報の取り扱いについて、入園時等で説明されている	◎	十分説明できている。
業務上で知り得た子どもの情報に関する守秘義務について全職員で周知している	◎	ミーティング時などに再確認して周知できている。
保護者からの相談内容について全職員で周知している	△	ミーティング回数が少なかったため、施設長しか知らないということがあった
<b>5. 保育内容</b>		
遊びに入れない子どもや全体の様子に気を配っている	◎	

子どもが伸び伸びと思いを表現できるような保育が行われている	◎	
遊びを通して、友達や保育士とのかかわりが十分持てるよう配慮されている	◎	
遊びや生活を通して人間関係が育つような配慮をしている	◎	
身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている	◎	
園の行事や保育の内容が知らされている	△	案内の親よりを出すのが遅く、保護者からの問い合わせが数回あった。
<b>6. 保育環境</b>		
園内外が清潔で心地よい空間となっている	○	きれいに整備されている。
年齢に応じた保育が提供できるような環境になっている	△	部屋分け、コーナーわけができていなかった。
子どもが落ち着いて過ごせるよう、保育室の雰囲気・おもちゃが工夫されている	△	年齢にあったおもちゃの配置ができておらず、ケガにつながるがあった
<b>7. 支援を要する子どもへの対応</b>		
配慮が必要な子どもの対応がされている	△	行政等への連絡ややりとりが不十分でこども・保護者に十分な支援ができたとはいえない。
<b>8. 保護者支援</b>		
意見や要望への対応ができています	◎	
職員が子育て等について話しやすい雰囲気や態度で接している	◎	
<b>9. 安全対策・健康管理</b>		
保育中、体調への気配りや怪我等に対する配慮がされている	○	
感染症の発生状況や注意事項等が知らされている	△	園児が感染症にかかっていることが保育者間でも周知されていないことがあった。保護者へ知らせると不安にさせるのではないかと施設長の配慮が周知を妨げていた。
子どもの成長を把握している	◎	

不審者対策を行っている	○	不審者訓練を年2回行っていた。 玄関の施錠をし忘れていたことがあった。
<b>10. 食育</b>		
給食が楽しく食べられるよう工夫されている	◎	楽しく食べられる雰囲気づくりに努めている。
食育を通して子どもたちが食に興味を持てるようにしている	○	トマトの栽培を試みたが、枯らしてしまったので、次年度は環境を見直し再チャレンジする。
子どものサインを見逃さないようにしている	○	体調やそれぞれの好みに合わせて柔軟に対応するよう努めている。
アレルギー除去食の対応をしている	△	誤食（ヒヤリハット）が2回あった。献立の二重チェックと再発防止に取り組んでいく。
衛生管理の徹底をしている	◎	和え物やフルーツは提供するまで冷蔵庫で保管している。
<b>11. 地域支援</b>		
地域との関係が適切に保たれている	◎	みなくさまつりなど地域のお祭りに積極的に参加している。
<b>12. 職員育成</b>		
研修会等職員としての質の向上に努めている	△	研修会があっても報告・共有がされていなかったため、次年度は報告会を設ける。

#### 園全体の評価

企業主導型保育園で小規模保育園のため、行政や公共の支援機関とのつながりが薄くなりがちであった。認可外にも広く周知されている研修に参加したり、学びを園内でしっかり共有したりという仕組みが作れていなかった。

待機児童が多い地域のため、入園の希望は開園から6年間、絶えることなく続いている。今後は信頼を得、選ばれる保育園となっていく必要がある。

#### 来年度の課題

正職員だけでなく、非常勤職員も多く勤めているので、園内での情報共有が課題として挙げられる。  
(入園希望者情報の共有、子どもの様子、行事など)